

公益社団法人 日本臨床細胞学会
平成 27 年度 (2015 年度) 第 4 回理事会議事録

日 時：平成 28 年 (2016 年) 3 月 19 日 (土) 10 時 00 分～13 時 00 分

場 所：日本臨床細胞学会事務局会議室 (地下 2 階)

役員総数： 40 名 (理事 40 名, 監事 3 名)

出席総数：理事 30 名, 監事 2 名

(理事長) 青木大輔 (副理事長) 紀川純三, 越川卓, 植田政嗣, 佐藤之俊 (理事) 池田徳彦, 石井保吉, 伊藤潔, 伊藤仁, 稲山嘉明, 井上健, 小田瑞恵, 落合和彦, 加来恒壽, 加藤久盛, 河原栄, 川本雅司, 小松京子, 齋藤豪, 白石泰三, 竹島信宏, 寺本勝寛, 内藤善哉, 中村直哉, 羽場礼次, 平井康夫, 前田一郎, 森井英一, 森谷卓也, 山城勝重

(監事) 佐々木寛, 長谷川壽彦

(総務委員会幹事) 柿沼廣邦, 富永英一郎, 星利良, 町田知久, 丸田淳子, 山下博

(細胞診専門医会会長) 土屋眞一

(日本肺癌学会とのワーキンググループ委員長) 渋谷潔

(会計士) 中田ちず子

欠席者：(理事) 榎本隆之, 岡本愛光, 小西登, 生水真紀夫, 長尾俊孝, 広岡保明,
藤井多久磨, 八重樫伸生, 横山繁生, 横山正俊

(監事) 長村義之

(総務委員会幹事) 垣花昌俊, 所嘉朗

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り, 池田徳彦総務委員長が議長となった。

議長は定款第 34 条に則って, 理事総数の過半数 (30 名) の出席により定足数を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り, 議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが確認された。

理事長挨拶：青木大輔

議事録案確認 (2015 年 12 月 26 日通信理事会)：前通信理事会の議事録案が確認された。

1. 理事長報告：青木大輔

平成 27 年度の最後の理事会である。平成 28 年度の子算と事業計画案をここで認めて頂かないと公益の運営に支障がでてしまうため, 年度末のこの時期に理事会を組ませて頂い

た。本日は学会等々の予定が重なりご迷惑をかけたと思うが、その他の様々な現時点での問題も含めて、皆様のご尽力賜れればと思っている。

2. 副理事長報告

紀川純三：学術、編集、国際交流、IACを担当する。学会において、種々のセミナーや専門医に関するポイントが問題になってきている。学会のあり方、とくに春・秋の大会にてどのようにセミナーを組んでいくのか等々の必須項目に対する方向性を決める必要がある。内藤学術委員長にご相談し、学術委員会内にてワーキンググループを設置し、連携して行っていく予定である。

越川 卓：認定試験、検査士、教育を担当する。平成 28 年度の事業計画・報告事項に関しては、各委員会委員長の報告をもって、ご了解して頂きたい。来年度は 6 月に国際細胞学会 (ICC2016) があり、その中で CT (IAC) 資格認定試験が例外的に行われる。現在その準備を進めている。

植田政嗣：専門医制度、専門医を担当する。日本専門医機構の指針に従い細胞診専門医制度の改革・推進を行っている。現在、総合診療領域を含めた 19 基盤学会の認証がほぼ完了し、29 サブスペシャリティ学会の認証がこれから加加速度的に進められていくと予想される。サブスペシャリティ領域における研修プログラム整備基準が間もなく公表され、これは基本領域の整備基準に準ずるものと聞いている。それに従い、来年 6 月にヒアリングが行われ、10 月までには 29 学会のほぼ全てが認証されると見込まれる。本学会はサブスペシャリティ学会の筆頭に挙げられており、この流れに従い細胞診専門医制度の概観を整備していく。また、現在の研修セミナー等々の教育に関する指針およびガイドラインは過去に決定した基準であり、現在との整合性がとられていない。このため、包括的な議論をしてアップデートし整合性をもたせるため、ワーキンググループを設立し、整備していく。

佐藤之俊：総括、財務、渉外を担当する。いずれも順調に進んでいる。収支関連において、学会は厳しい状況にある。このため、予算・事業計画に関しては、皆様としっかり意見を出し合い検討・審議し、承認して頂ければと思っている。また、来年度は評議員の改選の年となり、準備を進めている。

3. The 19th International Congress of Cytology (略称：ICC2016) 準備状況：(青木大輔理事長)

会期：2016 年 5 月 28 日 (土) ～6 月 1 日 (水) (5 日間)

場所：神奈川 パシフィコ横浜

4. 第 57 回平成 28 年 (2016 年) 春期大会準備状況：(青木大輔理事長)

会期：2016 年 5 月 27 日 (金)、28 日 (土)、29 日 (日)

場所：神奈川 パシフィコ横浜

第 19 回 IAC 国際細胞学会 (ICC2016) と合同開催

5. 第 55 回平成 28 年 (2016 年) 秋期大会準備状況：(横山繁生理事)

会期：2016 年 11 月 18 日 (金), 19 日 (土)

場所：大分 B-ConPlaza (別府国際コンベンションセンター)

6. 第 58 回平成 29 年 (2017 年) 春期大会準備状況：(植田政嗣副理事長)

会期：2017 年 5 月 26 日 (金), 27 日 (土), 28 日 (日)

場所：大阪 大阪国際会議場

7. 第 56 回平成 29 年 (2017 年) 秋期大会準備状況：(加来恒壽理事)

会期：2017 年 11 月 18 日 (土), 19 日 (日)

場所：福岡 福岡国際会議場

8. 各種委員会での議事の経過概要および議決結果

総務委員会 (委員長 池田 徳彦)

[事業計画・報告事項]

1. 常務理事会, 理事会, および総会の運営実務
2. 図書会員の学会年会費や扱いについての詳細の取り決め
3. 地域連携組織のホームページ等での学会マークの使用手続き方法の取り決め
4. マイナンバー制度への対応 (他学会の調査, 業務委託など)

[審議事項]

1. 一般社団法人日本医療安全調査機構への加入が提案され, 承認された.
2. 日本臨床細胞学会会員である日本臨床衛生検査技師会会長の宮島喜文氏が参議院選に立候補するとのお知らせがあったが, 立候補の知らせを受領するのみの対応とすることとなった.

情報処理委員会 (委員長 伊藤 仁)

[事業計画・報告事項]

1. 2016 年 1 月より学会ホームページの全面的な改修が始まり, 4 月上旬には完了予定
2. 2016 年 2 月 1 日現在のマイページログイン率
医師:31.18% 技師(正会員):41.73% 技師(準会員):36.72%
名誉会員:24.39% 功労会員:28.57% 合計:34.97%

[審議事項]

特になし

学術委員会 (委員長 内藤 善哉)

[事業計画・報告事項]

1. 学会賞・技師賞・班研究課題の応募と選考を引き続き行う.

2. 最優秀論文賞の応募と選考を引き続き行う。
3. 各種選考に関し、規定以外の具体的な選考方法に関する内規を作成する。
4. 細胞診ガイドラインの転載許諾作業を細胞診ガイドライン作成ワーキンググループから引き継いで行う。
5. 学会のあり方を検討するワーキンググループを学術委員会内に設置し、春期と秋期大会の棲み分けや新専門医制度の開始に伴うポイント制度の対応等を関連委員会と協力して検討していく。第 57 回(2016 年) 春期大会にて学術委員会を招集し、内容等の方向性を決定する予定である。

〔審議事項〕

青木理事長より、学術委員会内にて春期と秋期大会の学術集会運営要項を作成して欲しいとの要望があり、検討事項となった。

計理委員会（委員長代理 伊藤潔理事）

〔事業計画・報告事項〕

1. 平成 28 年度予算の作成および事業計画提出の準備について
平成 28 年度学会・細胞診専門医会・検査士会を含めた全体の予算および事業計画を作成し、3 月末までに内閣府へ提出する予定である。
2. 事業の収支報告について
管理および事業の収支内容について、正常な収支になるよう確認を行い、会場費など経費削減が出来る箇所の努力を行うようにする。経費削減をしても赤字の場合は、受講料等の値上げについても考える予定である。
3. 報酬等の支給及び支出基準に関する規程の追加
「報酬等の支給及び支出基準」の内容の中で、細胞診専門医および細胞検査士認定試験の会場手伝い、各委員会会議、セミナー講師等で連泊時に支払う食事代等の必要な基準を追加していく予定である。

〔審議事項〕

平成 28 年度の予算案については、3. 審議事項にて審議する。

編集委員会（委員長 竹島 信宏）

〔事業計画・報告事項〕

1. 2015 年に予定通りの学会雑誌の発行を行った。
2. 日本臨床細胞学会誌 55 巻から紙媒体の販売業務を藤印刷へ委託。
3. 評議員申請における査読義務。
4. ActaCytologica の日本代理店である KARGAR 社から優先レートでの購買促進についての提案があり、編集委員会にて審議中である。

[審議事項]

1. 評議員の査読インセンティブについて

前回の理事会にて検討・審議事項となっていた査読インセンティブについては審議の結果、査読一回につき1単位を与えることとなった。

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤 豪）

[事業計画・報告事項]

1. 平成28年度細胞診専門医資格認定試験

2016年11月27日（日）に「AP浜松町」で施行予定。筆記試験問題25問、細胞像試験（カラープリント）問題25問の50問（50点）とガラス鏡検問題50点の合計100点。医師は全て総合科に統一。歯科医師はガラス鏡検問題のみ歯科口腔領域を選択。昨年に引き続き、マークシート方式を採用。

2. 平成28年度細胞診専門医資格更新

平成28年度細胞診専門医資格更新対象者ナンバーは、774-899, 1171-1241, 1447-1509, 1711-1797, 2160-2274, 2578-2672, 2962-3051・8001-8017。細胞診専門医会出席義務廃止、クレジット重視、本法人学術集会（春期・秋期）2回以上出席要、次回更新は5年後。

3. 新規セミナー・ワークショップ等の企画

4. 平成28年度細胞診専門医資格認定試験委員会委員長に引き続き杉山裕子先生を任命。

[審議事項]

特になし

施設認定制度委員会（委員長代理 池田徳彦理事）

[事業計画・報告事項]

1. 平成28年度年報提出（締切 2016年3月31日）

2. 平成28年度教育研修施設年報提出（締切 2016年6月30日）

3. 平成28年度認定施設更新作業

4. 平成28年度新規申請審査会

5. 平成28年度更新審査会

6. 平成28年度教育研修施設更新作業

7. 平成29年度新規認定施設募集

8. 平成29年度新規教育研修施設募集

9. 平成28年度実施調査は、内部精度管理ワーキンググループのもとで、2016年7月～9月を目途に実施予定

10. 外部精度管理（コントロールサーベイ）は外部精度管理ワーキンググループの下で、2016年秋に実施予定。

<内部精度管理（実地調査）について>

- ・平成 28 年度実施調査は、内部精度管理ワーキンググループのもとで、新規認定施設および年報未提出施設などから 3 ないし 4 施設を選択し、実地調査を行う。
- ・結果は平成 28 年度第 3 回理事会にて報告予定。
- ・春期大会を含め、3 回の委員会開催と各 WG の会議を開催する必要あり。
- ・結果は日本臨床細胞学会雑誌のイエローページに会告として報告予定。

[審議事項]

青木理事長より、施設認定に関して混乱が生じているため、細胞診専門医会のあり方委員会、細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ、細胞診専門委員会と協力して整備を進めていって欲しいとの要望があった。

細胞検査士委員会（委員長 加藤 久盛）

[事業計画・報告事項]

1. 2016 年 CT(IAC)資格認定試験
2016 年 5 月 28 日(土)にパシフィコ横浜において実施する。
2. 平成 28 年度（第 49 回）細胞検査士資格認定試験
1 次試験は 2016 年 10 月 29 日(土)に CIVI 研修センター新大阪東において実施予定。
2 次試験は 2016 年 12 月 10・11 日(土・日)に東京富士大学において実施予定。

[審議事項]

1. 資料に沿って細胞検査士資格更新期間変更に伴った細則変更案が提示され、細則変更案が理事会にて承認された。細胞検査士会についての承認については細胞検査士会総会時の承認事項とすることが決定した。
IAC についての資格更新期間変更については、現在検討中である。

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 羽場 礼次）

[事業計画・報告事項]

1. 平成 28 年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー（グリーンカード）
0138～0194, 0364～0439, 0760～0912, 1147～1353, 2068～2258, 2913～3119,
3932～4209, 4942～5134, 5813～6050, 6574～6748, 7450～7685, 8318～8612
更新予定者：1819 人
※ 2017 年 2～3 月に更新審査予定
2. 平成 27 年度 細胞検査士資格更新対象者の中で所屬地域連携組織の年会費が未納なため資格更新が保留となっている者がおり、各地域連絡委員会に支払いの連絡をとるよう
に伝達したとの報告があった。

[審議事項]

青木理事長より、地域連携組織に加入せずに資格更新が出来ている細胞検査士がいるのか

実態を調査して欲しいとの要望がり，検討事項となった。

教育委員会（委員長代理 池田 徳彦理事）

〔事業計画・報告事項〕

1. 決定済みの予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第71回細胞検査士ワークショップ	2016年3月12-13日	九州ブロック：福岡大学筑紫病院 南部 雅美(CT) 福岡大学メディカルホール
第125回細胞検査士養成講習会	2016年7月4-16日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第41回細胞診断学セミナー	2016年8月4-7日	東京医学技術専門学校・教育委員長
第71回細胞検査士教育セミナー	2016年8月27-28日	日本教育会館：片山 博徳
第72回細胞検査士教育セミナー	2016年9月10-11日	松下IMPホール：矢羽田 一信
第72回細胞検査士ワークショップ	2016年7月23-24日	札幌医科大学：田上 稔
第73回細胞検査士ワークショップ	2017年2月または3月の土日	会場未定：平田 哲士

2. 現在，セミナー・ワークショップの原価計算を行っており，その結果，適正な受講料の案が事務局より提出される予定である。

〔審議事項〕

特になし

渉外・広報委員会（委員長 加来 恒壽）

〔事業計画・報告事項〕

1. 渉外・広報に係る委員会を開催予定
2. 各種関連団体への協力（医療関連サービス振興会の委員としての審査業務等）
3. 現在，毎週水曜日夜10時より放送されているフジテレビドラマ「フラジャイル」にて，本学会の大会ポスターが登場したとの報告があった。

〔審議事項〕

特になし

社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

〔事業計画・報告事項〕

1. 平成 28 年度診療報酬改正の総括
*セルブロック法が N004 細胞診の項目に掲載された(860 点). ただし, 悪性中皮腫を疑う場合に限定されている.
*細胞診として扱われているので, 現状ではこれを用いた免疫染色は不可と思われる.
2. 平成 30 年度改正にむけた要望の検討に入る. 具体的には, 委員会開催, メール審議, 必要に応じてアンケート調査, 関連学会等との話し合い, 内保連出席など.

〔審議事項〕

特になし

地域連絡委員会（委員長代理 加来恒壽理事）

〔事業計画・報告事項〕

1. 平成 26 年度支部・連合会活動報告および定点観測について
各地域学会・連合会・定点観測の報告について, 2016 年 2 月 27 日までに提出していただくようお願いをしている. 活動報告は, 第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）中に開催される全国地域代表者会議で報告する予定である.
2. 平成 27 年度地域学会・連合会活動報告および定点観測の報告を回収予定である.
3. 「子宮の日」の子宮頸がん検診推進活動支援について
平成 28 年度の活動支援申請についての連絡を 1 月中に各地域学会へ連絡した. 今年度より, 47 都道府県の地域連携組織にて活動が行われる予定との報告があった.

〔審議事項〕

青木理事長より, 定点観測について一旦区切りをつけて欲しいとの要望があり, 検討事項となった.

国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

〔事業計画・報告事項〕

1. 2 国間交流
 - 1) 第 6 回日中細胞診合同会議は開催に向けて日程等調整中.
 - 2) 日韓, 日タイ細胞診合同会議については報告を徹底し, イエローページへの掲載が決定している.
2. 国際・アジアフォーラム
 - 1) 第 57 回日本臨床細胞学会総会・春期大会（会長 青木大輔）
開催日：2016 年 5 月 28 日(土)-29 日（日）
開催地：横浜
国際・アジアフォーラム (Global Asia Forum)

担当：榎本委員，宮城先生

3. IAC 関連

- 1) Australian society of cytology (ASC)
45th Annual Scientific & Business Meeting
16-19. October 2015 Brisbane Australia
Professor Andrew Field
- 2) European congress of cytology (ECC)
39th European Congress of Cytology (ECC)
23-26. September 2015 Milan Italy
Congress President Dr. Luigi Di Bonito

[審議事項]

国際・アジアフォーラムについてのあり方を今後検討していくことが提案され，承認された。

制度審議委員会（委員長 川本 雅司）

[事業計画・報告事項]

1. 理事会，総会承認に基づく定款，細則改定の実施
2. 各委員会内規の把握とりまとめの実施
3. 学術集会に関する内規の作成

[審議事項]

1. 資料に沿って，評議員選任に関する施行細則の改定案（査読委員→査読者への名称変更）が提示され，承認された。
2. 川本制度審議委員より，各委員会の内規を制度審議委員会に提出して欲しいとの呼びかけがあった。

医療安全委員会（委員長 森井 英一）

[事業計画・報告事項]

1. 医療安全セミナーの開催
第57回(2016年)春期大会および第55回秋期大会において医療安全セミナーを開催する。第57回総会では「臨床細胞検査等における医療安全について」を行う。
2. 感染対策セミナーの検討
横山秋期大会長より，感染対策についてのセミナー開催の提案があり，今後検討していく。
3. MSC ホットラインを継続する。利用実績が乏しいので周知を図るよう努力する。

[審議事項]

特になし

倫理委員会（委員長 河原 栄）

〔事業計画・報告事項〕

1. 各大会中に倫理に関わる教育セミナーの実施.
2. 第57回(2016年)春期大会にて,倫理委員会指定セミナーとして黒木登志夫先生による「研究不正—その実態と背景, 対策について—」を企画.

〔審議事項〕

1. 女性委員と外部委員の追加
現在の委員会構成は, 文部科学省の臨床研究に関する倫理指針における委員会構成の細則の条件である女性委員と一般の立場の委員がない. このため, 女性委員と一般の立場の委員(臨床試験審査委員会との兼任)の追加が提案され, 承認された.
2. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について
委員会開催時における外部委員の日当と交通費の支出基準について倫理委員会と臨床試験審査委員会から合同提案され, 基準案を総務委員会にて作成し, 次回の検討事項とすることが決定した.

利益相反委員会（委員長代理 池田 徳彦理事）

〔事業計画・報告事項〕

1. COI 自己申告書・COI に関わる指針・細則の改定に伴う Q&A の作成（継続事業）

〔審議事項〕

1. 資料に沿って, COI 指針・細則修正案・Q&A が提示され, COI 指針・細則修正案について承認された.
2. 利益相反自己申告書の提出の流れ
青木理事長より, 前年の1月~12月のCOIの申告は年度内とすること, 改選年は総会を超えて委員が決定した段階でCOIの申告をしていない者に提出を促すことが提案され, 承認された.
3. 上記 Q&A の参考資料
Q&A の参考資料の内容については次回の審議事項とすることが決定した.

臨床試験審査委員会（委員長 中村 直哉）

〔事業計画・報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく.

〔審議事項〕

1. 委員会開催時における外部委員の日当と交通費について
倫理委員会の項 審議事項 2 と同様.

IAC連絡委員会（委員長代理 池田徳彦理事）

〔事業計画・報告事項〕

1. The 19th International Congress of Cytology (略称：ICC2016) 開催前日、
5月28日（土）12：00～17：00でIAC試験の実施。
2. ICC YokohamaでのIACの式典、諸種プログラムなどの詳細の決定作業が進んでいる。
3. Executive Council 2016-2019(President：長村義之監事)がICC Yokohamaの終了とともに職務を開始する。

Acta Cytologicaの投稿数増加・2017のIF奪還、IAC試験の実施、Tutorialの推進、
Education materialの充実など課題が多数。JSCCの会員の方々のご支援をお願いしたい。

〔審議事項〕

1. ICC2016にてサイトパソジスト試験実施委員長に植田政嗣理事、国際細胞検査士試験実施委員長へ加藤久盛理事が推薦され、全員一致で承認された。

第19回IAC国際細胞学会準備委員会（委員長 青木 大輔）

〔報告事項〕

1. 会議概要

共同主催：日本学術会議

HP：<http://www.cytologyjapan2016.com/>

Key Dates

Early bird registration deadline	April 15th, 2016
Hotel reservation deadline	April 28th, 2016
Late registration deadline	May 19th, 2016
Opening of the Congress	May 28th, 2016

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）と同時開催

2. 参加登録について

事前参加登録数（両学会共通）：504件（3月9日現在）

3. 参加費用について：資料の如く参加費用を設定した。

4. 学術プログラムについて

一般演題応募数

ICC2016： 378題

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）： 304題

プログラム一覧：資料の如く学術プログラムを設定した。

市民公開講座

日時：5月28日（土）16時～18時30分（15時30分開場）

会場：パシフィコ横浜 メインホール

第一部：16:05～17:20「経験者と乳がん・子宮頸がんの未来を考える」

キーノートスピーチ 井上苑子

モデレーター 宮城悦子, 三原じゅん子, 鈴木美穂, 藤森香衣,
難波美智代

第二部：17:40～18:25 「誕生日には検診を！ママと子どもの笑顔をまもるから
だの約束」

モデレーター 山本恵子, 戸澤晃子, 新井日南恵, 堀江敦子
甲田恵子, 奥田絵美, 安藤哲也

5. Business Meeting について

IAC Council Executive Meeting

日時：5月28日（土） 10:00～16:00（詳細は未定）

会場：パシフィコ横浜 会議センター 418

（以下、日本臨床細胞学会関連）

理事会

日時：5月27日（金） 15:30～18:30

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 大会議室

（最寄駅：桜木町駅）

総会

日時：5月28日（土） 15:30～16:30

会場：パシフィコ横浜 国立大ホール

6. IAC 試験について

日程：5月28日（土）12:00～17:00（予定）

会場：パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）会議センター 4階

7. 資格更新クレジットの取得について：日本臨床細胞学会 細胞診専門医研修指定講座，倫理委員会教育講演（日本臨床細胞学会，日本産科婦人科学会 共通講習），医療安全セミナー（日本臨床細胞学会，日本産科婦人科学会 共通講習），日本産科婦人科学会 専門医機構プログラムを設定した。産婦人科専門医に関するプログラムは産科婦人科学会を通じて日本専門医機構へ申請した。

〔審議事項〕

特になし

尿細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ（委員長 白石 泰三）

〔事業計画・報告事項〕

1. 泌尿器細胞診の報告様式の解説書作成について，作成した解説書は第 57 回日本臨床細胞学会学術集会で会員に配布予定である。
受け取れなかった会員のために，ホームページに掲載も予定している。
本委員会の名称は「尿細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ」ではなく「泌尿器細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ」とする。
なお，解説書の最終原稿を近日中にダウンロード可能な形で理事に公開する予定であ

る。

〔審議事項〕

特になし

細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ（委員長 内藤 善哉）

〔事業計画・報告事項〕

1. 細胞診ガイドライン全巻発刊について
2015年11月に細胞診ガイドライン3巻・5巻を発行。全巻発刊が終了したため、ワーキンググループも終了する。
2. 細胞診ガイドライン転載許諾について
細胞診ガイドラインの転載許諾について申請が数件届き対応を行った。
WG終了後は学術委員会が作業を引き継ぎ、金原出版の転載規程に則り対応を行う。
3. 細胞診ガイドライン利益相反について
細胞診ガイドラインWG委員および各臓器を担当した小委員に利益相反申告書の提出をお願いした。利益相反の内容については、ホームページに掲載済みである。

〔審議事項〕

特になし

臨床試験ワーキンググループ（委員長 寺本 勝寛）

〔事業計画・報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究（CITRUS study）」
（山梨県、千葉県柏市）
〔進捗状況〕
最終登録数は18,471例（山梨県12,192例、柏市6,279例）であった。今後、追跡調査を継続する。
2. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象としたLC-1000の有用性に関する臨床試験」
目的：要精密検査目的で来院した子宮頸癌疑い患者、及び検診受診者を対象とし、LC-1000（剥離細胞分析装置：一般医療機器 シスメックス社製）により算出されたCPIx（Cell Proliferation Index）に基づく定性判定の有用性を、HPV検査と比較することにより検証する。中間報告会を2016年2月20日に予定している。
〔試験予定期間及び目標症例数〕
 - ・試験予定期間：2015年6月～2017年3月（終了予定）
 - ・目標予定症例数：要精密検査対象者：約450例、検診受診者：約480例〔進捗状況〕
 - ・現在の進捗：要精密検査対象者：合計476例

〔審議事項〕

特になし

細胞診用語解説集作成ワーキンググループ（委員長 竹島 信宏）

〔事業計画・報告事項〕

1. 電子媒体での用語解説集の作成を目指している。
2. 用語解説の統一した原案の作成完了。原案は学術委員会内にて確認済みである。作成した細胞診用語解説集は、理事全員の確認をとる予定。
3. その後にパブリックコメントを集めるため HP 上に掲載予定。

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ（委員長 植田 政嗣）

〔事業計画・報告事項〕

1. 細胞診専門医制度の今後の方向性について通信委員会等で討議
2. 日本専門医機構のヒアリング参加
3. 新しい細胞診専門医制度の運用面も含めて細胞診専門医あり方委員会、細胞診専門医委員会、施設認定制度委員会と協力して施行細則整備
4. 平成 28 年度教育研修指導医申請と認定作業

（これまでの経緯）

第 1 回審査会結果（2014 年 12 月） 認定 263 名，暫定 113 名

上記「暫定」の内 2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 77 名

第 2 回審査会結果（2015 年 2 月） 認定 154 名，暫定 98 名

上記「暫定」の内 2015 年秋の細胞診専門医セミナーに参加し認定に移行した方 50 名

現時点では認定 544 名，暫定 84 名

〔審議事項〕

1. 「教育研修指導医認定並びに資格更新に関する施行細則」改定の件
（細胞診専門医委員会）
資料に沿って「教育研修指導医認定並びに資格更新に関する施行細則」改定案が提示され、承認された。
2. 「施設認定に関する施行細則」および「教育研修施設認定に関する施行細則」改定の件（施設認定制度委員会）
5 年ごとの更新期間変更に伴った「施設認定に関する施行細則」および「教育研修施設認定に関する施行細則」の改定が提案され、承認された。また、日本専門医機構の指針による研修プログラムに沿って施行細則の大幅な改定を施設認定制度委員会 長尾委員長と協力して行っていくとの報告があった。

3. 日本臨床細胞学会の選択研修プログラム整備基準

サブスペシャリティ領域における研修プログラム整備基準の公表に先立ち、細胞診専門医会の細胞診専門医あり方委員会 亀井委員長と森井副委員長にお願いして本学会の日本臨床細胞学会の選択研修プログラム整備基準案を作成中との報告があった。

日本肺癌学会とのワーキンググループ（委員長 渋谷 潔）

〔事業計画・報告事項〕

1. 喀痰細胞診に関する地域・施設・検鏡者による診断率の差に関する研究
2. 標準的な細胞像のアトラスを作成（ホームページ掲載の可能性を検討する）

〔審議事項〕

特になし

3. 審議事項および議決結果

1) 平成 28 年度予算案について

計理委員会より平成 28 年度予算案が提示され、詳細に審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

2) 平成 28 年度事業計画案について

平成 28 年度の事業計画案が報告され、第 8 項 2) の平成 27 年度を平成 28 年度に修正することが確認された。内容について詳細に審議した結果、全員異議なくこれを承認した。

3) 教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループの設置について

資料に沿って、平成 28 年度細胞診専門医資格認定試験委員会 杉山裕子委員長を委員長とする教育研修に関わるガイドライン検討ワーキンググループの構成案が提示され、承認された。

4) 平成27年度・28年度の日本臨床細胞学会活動日程および事務局員の委員会・理事会業務担当について

資料に沿って、平成27年度・28年度の日本臨床細胞学会活動日程および事務局員の委員会・理事会業務担当について確認を行った。


閉会の挨拶：青木大輔理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成 27 年度第 4 回理事会を終了した。

平成 28 年 5 月 19 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長 青木大輔 

監事 長谷川壽彦 

監事

監事 佐々木寛 